

柏市子ども読書活動推進計画（第四次）案に対するご意見と市の考え方

市では、「柏市子ども読書活動推進計画（第四次）案」について、令和5年2月15日（水）から3月14日（火）にパブリックコメントを活用して意見を募集しました。その結果、1名の方から1件の意見が寄せられました。

貴重なご意見をお寄せいただきありがとうございます。いただいたご意見及びこれに対する市の考え方は以下のとおりです。

ご意見	<p>14 ページに図書館の利用者登録者数が下がっていることについてです。柏市図書館の口コミを拝見すると蔵書が少ないや、古い書物しかないといった意見がチラホラ見受けられます。</p> <p>市町村の図書館によっては新刊リクエストもウェブ申請できるのに、そういったシステムがなく、カウンターからの申請のみで、市民の意見が生かされていないことや、図書館についての口コミが生かされていないことが原因ではないでしょうか。</p> <p>市のホームページから新刊リクエストのウェブ申請の要望を出しても、「未所蔵本のリクエストについては、希望される資料の正確な聞き取りのため、カウンターでの申請としております。」とおっしゃられました。手書きの申請用紙より、ネット検索してコピー&ペーストしてのウェブ申請が情報が迅速かつ正確だと思いますし、</p> <p>他の市町村の図書館のウェブ申請での新刊リクエスト取り組みについてご存知ではない方もいらっしゃるようなので、柏市でも他の市町村の図書館の取り組みを反映できるように調査する必要があると思います。</p> <p>また、お子さんでもタブレットを使う時代なのに、職員の意識がアナログ過ぎるのも問題ではないでしょうか。</p> <p>図書館の電子書籍サービス実施について期待しておりましたが蔵書が少なく、今後次第ですが魅力的なコンテンツとは言えません。</p> <p>例えば「離乳食」とキーワード検索したら1件のみ、「妊娠」6件、「妊活」0件、「料理」83ケンという結果でした。私の興味が偏っているかもしれませんが、小説でもないのに蔵書が少な過ぎる現状をちゃんと精査して把握しておりますでしょうか。</p> <p>ご回答頂いた方の私見かどうかは判断できませんが「電子書籍については流通しているコンテンツ数に限りがあり、リクエストをいただいた資料をご用意できないケースが多いと考えています。そのため、現在提供可能な資料のみのご案内としております。」という回答を頂きました。これでは子ども達が「この本を読みたい」と思った知的好奇心を損失させる機会にしかならず、「自分で叶うかどうかはわからないけど読みたいけど、図書館にない本をリクエストしてみよう」といった一歩進んだ行動にも結びつきません。もう少し、利用者の希望に沿った図書館運営方法を考えて頂きたいです。</p> <p>利用者登録が減少しているのは、市民の声が反映できていないことが大きい一因だと思います。</p>
-----	--

市の考え方	<p>37ページの具体的取組No. 4「蔵書の充実」の内容を、「古くから読み継がれてきた基本図書に加え、現代の子どもたちの興味を喚起する図書、学習に役立つ図書、幼児のための絵本等、さまざまなニーズに対応した資料を収集し、蔵書の充実に努めていきます。」に修正しました。</p> <p>「新刊リクエストのウェブ申請」「電子書籍の未所蔵資料のリクエスト」など、具体的なサービスの運用については、今後検討してまいります。</p>
-------	--